令和８年度

病害虫発生予察注意報（第２号）

令和８年 11 月２日
神奈川県農業技術センター

病害虫名：ハダニ類

作 物 名：イチゴ

１　発生地域：県内全域（イチゴ栽培地域）

２　発生量：多

３　注意報発令の根拠

（１）巡回調査におけるイチゴ苗のハダニ類寄生株率は、７月に 6.2%（平年 3.0%）、８月に 10.0%（平年 1.9%）、10 月に 13.2%（平年 4.8%）と平年より高い状況が続いており（図１）、特に８月及び 10 月は過去 10 年間で最も高くなっている。

（２）ハダニ類発生ほ場率は、７月に 38.5%（平年 32.9%）、８月に 61.5%（平年 32.1%）、10 月に 53.8%（平年 28.7%）と平年より高い状況が続いている（図２）。

（３）気象庁が 10 月 27 日に発表した向こう１ヶ月の気象予報では、平年より気温が高いことから、ハダニ類の発生に好適な条件が続くと考えられる。

（４）以上のことから、寄生株率、発生ほ場率ともに高く推移しており、今後の増加が予想される。

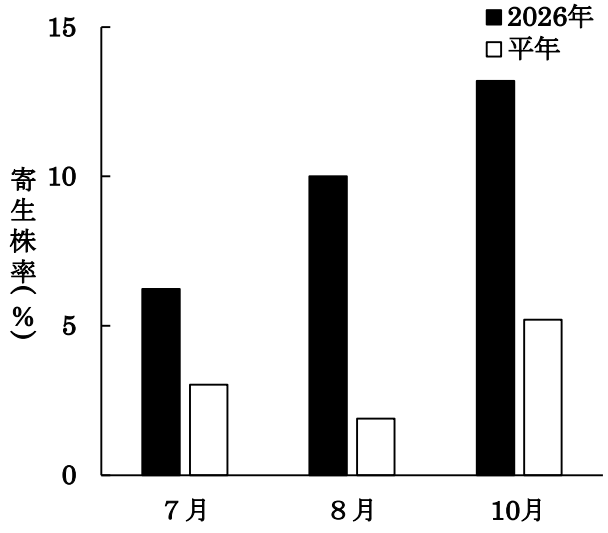


図１　巡回調査におけるハダニ類の寄生株率

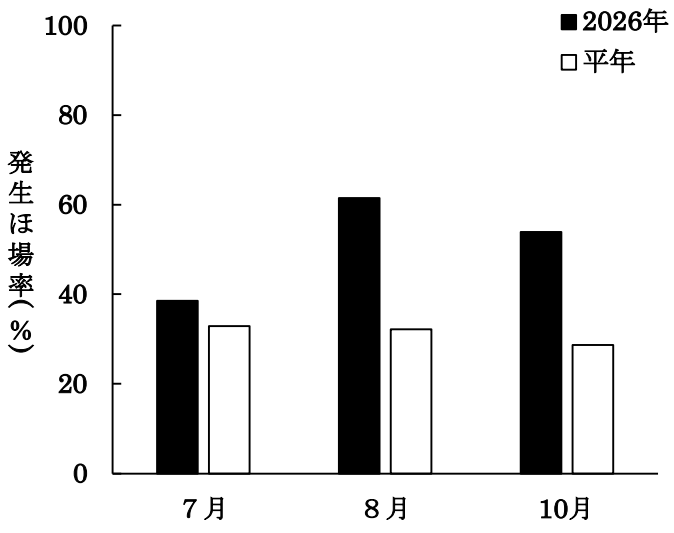


図２　巡回調査におけるハダニ類の発生ほ場率

４　防除対策

（１）本ぽで多発すると防除が困難になるため、ほ場をこまめに観察して早期発見に努め、ハダニ類が増殖する前に防除する。

（２）ハダニ類が寄生した葉は、ほ場外に持ち出すとともに、ほ場周辺に放置せず適切に処分する。

（３）ハダニ類は下葉の裏に多く寄生するので、下葉を整理し、薬剤が葉裏にも十分にかかるよう丁寧に散布する。

（４）薬剤散布の際は、薬剤抵抗性が発達しにくい気門封鎖剤も含め、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

（５）すでにハダニ類が多発しているほ場では、１回の薬剤散布のみでは薬剤の付着ムラなどで効果が不十分となる場合があるので、効果を確認しながら複数回散布する。

（６）天敵カブリダニ製剤を放飼する場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選択して散布し、ハダニ類の密度を低下させた後、適期に放飼する。

※農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守してください。

神奈川県農業技術センター　病害虫防除部
〒259-1204　平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333　FAX 0463-59-7411
http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/